

未来ビジョンのデザインについて

6月の第6回準備協議会でいただいた意見をもとに未来ビジョンのデザインを決定しました。

コンセプト

- ・ごちゃごちゃ感あふれる下北沢のまちを歩く楽しさ
- ・シモキタらしいパーツやアイテムを組み合わせた多様な人々
- ・発展中の未完成のおもしろさ、未来への余地、自分の入る余地（チャレンジ精神）がある

- ・はんこパーツを自分で組み合わせて完成させる
- ・参加できるデザイン

未来ビジョンのメインビジュアル



- ・下北沢の多様な人々と路地をモチーフに、彩りをプラスして、にぎやかで楽しいまちの雰囲気表現しました。
- ・タイトルデザインは未来に向かって飛躍を感じさせる右上に跳ね上がった形にしています。
- ・文字自体が地図の道をイメージしたデザインです。



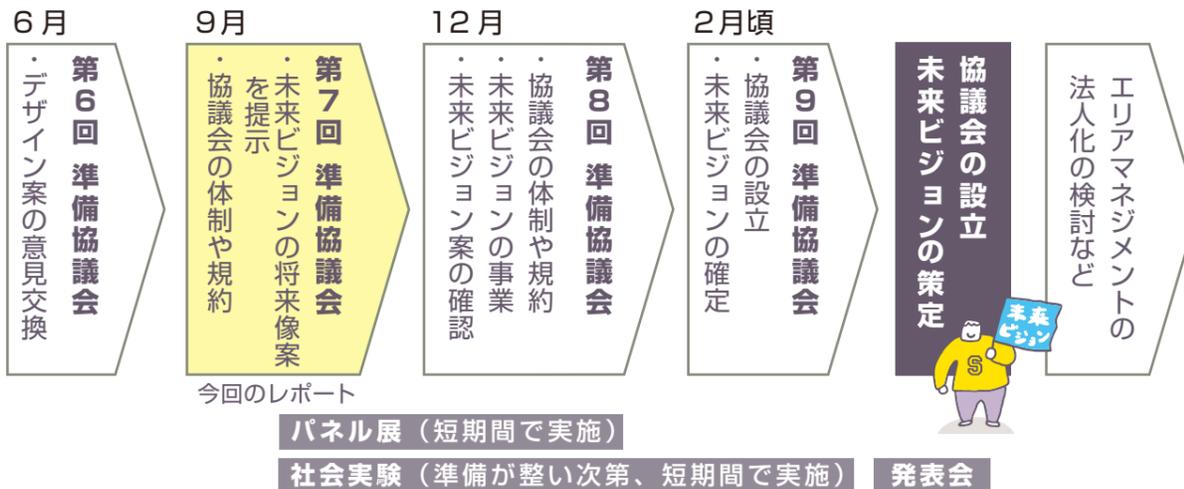
メインビジュアルのデザイン要素を使って、「未来ビジョン」4ページ目を使用する「将来像」の案も作成しています。

今後の取組

今年度はエリアマネジメントの実現に向けた検討を行い、今年度末に協議会の設立と未来ビジョンの策定を予定しています。

スケジュール案 2024年度

来年度以降



下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会

活動 Report vol.6

2024.12月発行



「協議会」の体制や規約について意見交換をしました

下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会の第7回では、「協議会」の体制や規約の骨子案の説明を行い、その後、グループに分かれて気づいたことや気になることなどの意見を出し合いました。体制や規約については、「協議会」の設立に向けて今後も引き続き検討を続けます。

また、第6回の準備協議会でいただいた意見を反映させて決定した未来ビジョンのデザインの紹介を行いました。会の最後には、未来ビジョン素案の内容を地域に広く紹介するために行うオープンハウス（パネル展）の開催日時や内容の紹介も行いました。

開催概要

日時 2024年9月19日（木）18:00～20:00

場所 北沢タウンホール4階 活動フロア

参加者

- ・下北沢一番街商店街振興組合
 - ・しもきた商店街振興組合
 - ・下北沢南口商店街振興組合
 - ・下北沢南口ピュアロード新栄商店会
 - ・I LOVE 下北沢
 - ・北沢2丁目協和会
 - ・昭和信用金庫
 - ・小田急電鉄株式会社
 - ・京王電鉄株式会社
 - ・（公財）世田谷区産業振興公社
 - ・世田谷区
- など（順不同）

アドバイザー

寺内 義典（国土館大学）、阿部 寛人（株式会社チームネット）、野村 剛正（中小企業診断士）

「協議会」の体制や規約の骨子案について

第7回準備協議会で説明した「協議会」の骨子案と、意見交換で出されたご意見の一部をご紹介します。これらの案は今後も引き続き検討を続けます。

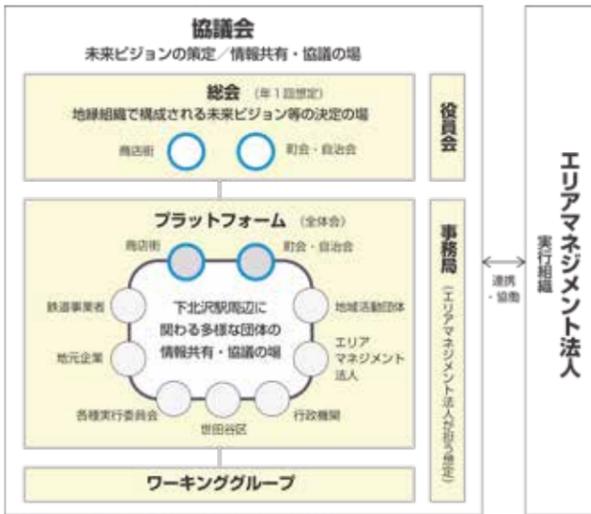


第7回準備協議会で説明した骨子案（一部抜粋）

「協議会（情報共有・協議の場）」と、「エリアマネジメント法人（実行組織）」の設立を目指します。

【協議会：体制の考え方】

- 協議会は、下北沢駅周辺に関わる多様な団体が参加するプラットフォームとして、情報共有や協議をする場とします。



【協議会：総会での議決事項案】

- 総会は、未来ビジョンの策定など、重要な事項について決定する機関とします。

【協議会：会員構成の案】

- 地域に関わる多様な団体が会員になります。
- 重要な決定を行う総会での議決権は地縁組織（町会・自治会、商店街）にのみ付与します。

【協議会：会員案（規約の骨子案より）】

- 協議会の目的、活動内容に賛同し、協議会の運営に協力するもので、以下のいずれかの要件を満たしている法人又は団体（任意団体を含む）
- 地域会員：対象エリア内の地縁団体、商店街振興組合
 - 団体会員：協議会会員から入会を推薦され、役員会の承認が得られた対象エリア内で活動している法人又は団体
 - 特別会員：対象エリアに係る行政機関

いただいたご意見（一部抜粋）

【協議会の運用に関わること】

- 協議会のプラットフォーム（全体会）の開催頻度はどの程度か？総会の年1回では少ないが、毎月が多すぎるため、適切な開催について、検討が必要。
- 協議会の財源も必要では。また、その財源をどうするか。
- ワーキンググループの参加者は会員のみか、外部もあるか。

【協議会の規約に関わること】

- 役員の選出方法（選挙・指名推薦等）については、規約の中に入れるべき。
- 役員は1団体に1人までにするか。
- 団体の入会承認は過半数なのか、詳細をきめていかなければならない。

【エリアマネジメント法人に関わること】

- エリマネ法人を運営するには、お金と人が大切。実行できる、継続できる体制が必要。
- エリマネ法人の立ち上げ資金をどうするか？

アドバイザー 阿部さんよりコメント

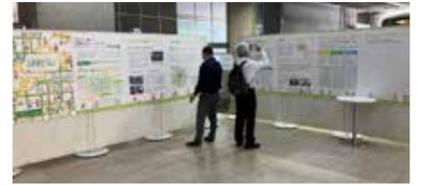
- 事務局の皆さんが各テーブルで仕切っていたのが良かった。これは全国的にたいへん稀有な地域であり、全国に共有したいくらい良いことである。
- 体制などの詳細に対して疑問が多く出たことも良かった。
- エリマネ法人が都市再生推進法人に指定されるかによって、本日の議論がクリアになることもある。そのステップをみんなで共有して理解していくことが重要。



下北沢未来ビジョンパネル展を開催しました

未来ビジョン素案の内容を地域に広く紹介し、ご意見を伺うことを目的に、パネル展を開催しました。

あわせて、検討中の内容とデザインを印象づけて覚えてもらうために、オリジナル缶バッジ作成コーナーを設けました。



日時 2024年10月11日（金）～10月13日（日）
スタッフは13:00～17:00の間、会場に滞在

場所 北沢タウンホール1階ロビー

参加者 来場者107名、缶バッジ作成者88名
アンケート回答者126名（※関係者を含む）

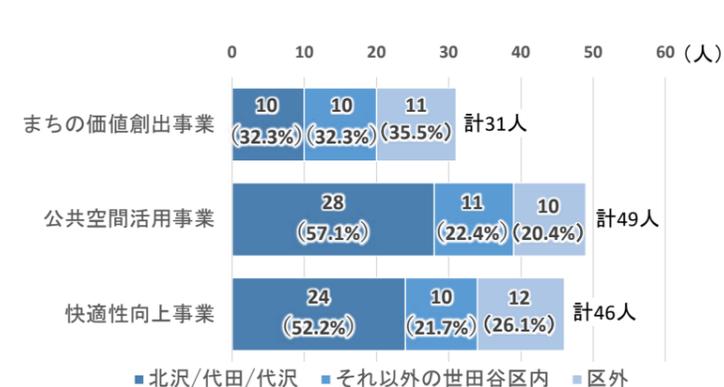


- 107名の方が訪れました。
- パネルを説明しながら、大切だと思う事業にシールを貼ってもらいました。
- 丸い台紙に好きな体パーツのスタンプを選んで組み合わせ、自分だけのシモキタ人を作成しました。
- 缶バッジメーカーでオリジナル缶バッジが完成！



パネル展 アンケート結果

大切だと思う事業を1つ選んでもらいました。「公共空間活用事業」（駅前広場などの公共空間を活用し、賑わう楽しいまちにすることを旨とする事業）が最も投票数が多く、計49人でした。また、その内訳については、北沢、代田、代沢地域に在住、在勤または在学の方の回答の割合が最も大きく、57.1%（28人）であり、下北沢駅周辺に関わる方にとっても重要な事業ということが分かりました。



いただいた自由意見（一部抜粋）

- 車が入って来ない様に歩いて楽しいまちにしたい。
- 常に変化（進化）し続けるまちとして、長いスパンの発展を考えていきたい。
- 休憩スペースがもっとほしい。
- まちづくりの仕組みの見える化。プロセスや想いや、つながる為の窓口が見えた状態に。
- 誰でも意見が言える場づくり。